



12 STEP 2

取扱説明書

Ver. 3.0.1

はじめに

この度は、12 Step をご購入いただき、誠にありがとうございます。このドキュメントは、12 Step2 および 12 Step Editor ソフトウェアの使用に関する詳細な情報を提供しています。

12 Step またはそのソフトウェアに関するご質問やご意見は、以下よりお問い合わせいただけます。

- ・テクニカルサポート：<https://www.soundhouse.co.jp/customers/support/repair>
- ・一般的なご質問：<https://www.soundhouse.co.jp/customers/inquiry/index>

ダウンロード先

12 Step ソフトウェアは MK のウェブサイトよりダウンロードできます：

<https://www.musekinetics.com/downloads/>

12 Step パッケージ内容

12 Step のパッケージには以下が含まれています：

- ・12 Step 2
- ・USB A - USB C ケーブル (3m)

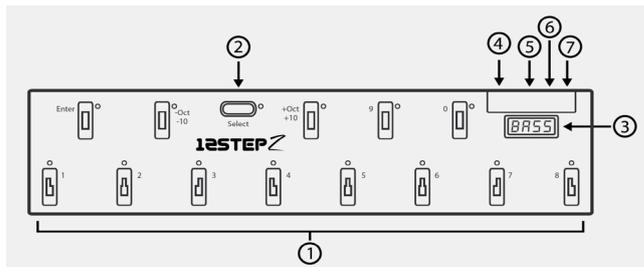
Step アダプターキット (別売)

Step アダプターキットには、12 Step2 を外部の CV および MIDI ハードウェアに接続するためのアダプターが含まれています。

キット内容は以下の通りです：

- ・TRS MIDI Out アダプター
- ・CV ピッチ/ゲート分岐アダプター
- ・エクスプレッションペダル入力

1-1. ハードウェア概要



① キー

キーを踏むと、ノートやその他の MIDI メッセージを出力します。各キーには赤色 LED が付いており、視覚的なフィードバックが得られます。

② セレクトボタン

セレクトキーは、プリセットの切り替え、オクターブシフト、ノートモードの切り替えなどに使用される多機能の特別なキーです。

③ ディスプレイ

現在読み込まれているプリセットの表示名を表示します。

④ USB-C

USB 経由で MIDI を送信するためにコンピュータやタブレットに接続します。また、12 Step をコンピュータなしで使用する場合は電源供給にも使用されます。

⑤ TRS MIDI Out

TRS MIDI Out (Type A) 経由でハードウェアに接続します。TRS-MIDI アダプターは Step アダプターキット (別売) に含まれています。

⑥ CV Out

ステレオジャックから 2 つの CV 出力を送信します。1/8 インチステレオ - モノラル 2 分岐ジャック・アダプターは Step アダプターキット (別売) に含まれています。

⑦ エクスプレッションペダル入力

エクスプレッションペダルを 12 Step に接続するために使用します。すべての入力には 3.5mm (1/8 インチ) の TRS ケーブルを使用する必要があります。エクスプレッションペダル入力アダプターは Step アダプターキット (別売) に含まれています。

1 -2. 12 Step2 の接続方法

12 Step2 は、ハードウェアへの接続にオプションが追加されています。USB-MIDI 送信用の USB-C 端子に加え、MIDI ハードウェアやアナログシンセサイザーとの接続に対応した TRS MIDI Out および CV 出力を搭載しています。

■ USB MIDI

付属の USB A - C ケーブルで 12 Step2 をコンピュータまたはタブレットに接続します。12 Step2 は、コンピュータまたはタブレットから電源が供給されます。

※ 12 Step2 は、コンピュータやタブレットに接続された USB ハブでも使用できます。バスパワーではなく、セルフパワーの USB ハブの使用を強く推奨します。バスパワーハブでは 12 Step2 に十分な電力が供給されず、正常に動作しない可能性があります。

コンピュータを使用しない場合は、USB-C 端子から 12 Step2 に電源を供給してください。

■ TRS MIDI Out

TRS MIDI Out 端子を使用して、12 Step2 を MIDI ハードウェアに接続します。5 ピン MIDI ハードウェアに接続するには、TRS-MIDI アダプター (Type A) を使用してください。

■ CV Out 1/2

12 Step2 は、コントロール電圧信号を使ってモジュラーシンセやアナログシンセサイザーをコントロールできます。Editor ソフトウェアを使用して、CV 出力に送信する信号をピッチ、ゲート、または任意のコントロールソースから選択できます。

CV Out は TRS 端子で、CV1 はチップから、CV2 はリングから出力されます。デフォルト設定では、CV Out 1 にゲート、CV Out 2 にピッチが出力されます。

■ エクスプレッションペダル入力

12 Step2 にエクスプレッションペダルを接続し、MIDI コントロールソースとして使用できます。接続には 1/4" - 1/8" TRS アダプターケーブルを使用してください。エクスプレッションペダルの可変範囲は、12 Step Editor ソフトウェアでキャリブレーション可能です。

※ボリュームペダルは 12 Step およびエクスプレッションペダル入力を持つ製品では使用できません。使用できるのはエクスプレッションペダルのみです。

■ Step アダプターキット (別売)

Step アダプターキットには、12 Step2 を外部機器に接続するために必要なアダプターがすべて含まれています。

キットには、TRS MIDI Out アダプター、CV 1/2 分岐アダプター、1/4" - 1/8" TRS エクスプレッションペダル・アダプターが含まれています。

1 -3. 12 Step2 の使用方法

■ ノートやコードの演奏

12 Step2 でノートを演奏するには、「セレクト」キー以外のキーを踏むだけです。通常、キーを踏んでいる間はノート (または複数ノート) がオンになり、離すとオフになります。この動作は、さまざまなノートモードによって変更可能です。

■ プリセットの変更

12 Step2 の本体には最大 64 個のプリセットを保存できます。

プリセットを選択するには、「セレクト」キーを長押しします。12 Step2 が点滅を始め、「セレクトモード」になったことを示します。続けて、数字キーのいずれかを押すと 1 の位が入力され、対応するプリセットが選択されて「セレクトモード」が終了します。

デフォルトでは、選択するプリセットの 10 の位は現在読み込まれているプリセットと同じです。10 の位を変更するには、セレクトモード中に「Enter」を押し、次に「セレクト」の左にある「-10」キーまたは右の「+10」キーを押して 10 の位を切り替えます。

■ オクターブの変更

12 Step2 のキーボード全体をオクターブ単位で上下にトランスポーズできます。プリセットの変更と同様に、オクターブのシフトもセレクトボタンを使用します。

まず「セレクト」キーを長押しします。12 Step2 が点滅を始め、「セレクトモード」になります。次に、「-Oct」キー (Eb) を押すと 1 オクターブ下へ、「+Oct」キー (F#) を押すと 1 オクターブ上へトランスポーズされ、「セレクトモード」が終了します。さらにオクターブを変更したい場合は、再度「セレクト」キーを押し続けてください。

■ -4. 12 Step2 の外部コントロール

12 Step2 は、多くの MIDI ソフトウェアやハードウェアを制御できますが、USB MIDI ポートを介して 12 Step2 本体も外部から制御できます。

■ プログラムチェンジによるプリセットの変更

スタンドアロンモード中、外部のソフトウェアやハードウェアからプログラムチェンジメッセージを送信して、12 Step2 のプリセットを変更できます。

USB MIDI 経由で送信されたプログラムチェンジは、セットリスト内の対応するプリセットを読み込みます。

(例：プログラムチェンジ 23 を送信すると、セットリスト内の 23 番目のプリセットが読み込まれます)

12 Step2 が応答する MIDI チャンネルは、12 Step Editor ソフトウェアの [Settings] タブにある [Program Change Preset Control] ドロップダウンメニューで設定できます。

■ LED のコントロール

12 Step の各キーには赤色 LED インジケータがあり、USB MIDI のコントロールチェンジ (CC) で制御できます。

CC 番号 20 ~ 33 を 12 Step2 に送信して各キーの LED を制御できます。1 ~ 127 の値を送ると点灯し、0 を送ると消灯します。

すべてのキー LED を同時に制御するには、CC42 を使用します。

キーのバックライトの明るさも、CC69 を使用して制御できます (値は 0 ~ 127)。この機能は 12 Step2 専用で、旧型 12 Step では対応していません。

LED 制御メッセージは、プログラムチェンジと同じ MIDI チャンネルで受信します。このチャンネルは 12 Step Editor ソフトウェアの [Settings] タブで設定できます。

■ ディスプレイのコントロール

キー LED に加え、12 Step2 の 4 文字ディスプレイも USB MIDI ポート経由で CC メッセージを送信して制御できます。

各文字は以下の CC メッセージでアドレス指定します：

- ・ CC 50 = 第 1 文字
- ・ CC 51 = 第 2 文字
- ・ CC 52 = 第 3 文字
- ・ CC 53 = 第 4 文字

各 CC には 48 ~ 90 の値を送信してください。対応は以下の通りです：

- ・ 48 ~ 57 = 数字 0 ~ 9
- ・ 65 ~ 90 = アルファベット A ~ Z
- ・ 58 ~ 64 = 各種記号 / 空白など

例：第 3 文字に「3」を表示させるには、CC52 に値「51」を送信します。

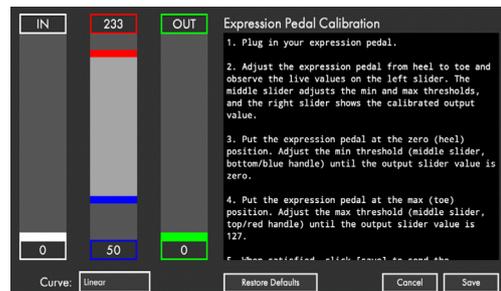
ディスプレイ制御メッセージも、プログラムチェンジと同じ MIDI チャンネルで受信します。チャンネル設定は 12 Step Editor ソフトウェアの [Settings] タブで行えます。

■ -5. エクスプレッションペダルおよび CV 出力のキャリブレーション

12 Step Editor ソフトウェアを使用して、エクスプレッションペダルの可変範囲および CV 電圧出力のキャリブレーションが可能です。どちらのキャリブレーションウィンドウも、「Hardware」メニューから開けます。

■ エクスプレッションペダルのキャリブレーション

12 Step に接続したエクスプレッションペダルは、MIDI パラメーターを制御するソースとして使用できます。ペダルの全可変範囲を正確に使用するために、キャリブレーションを行ってください。



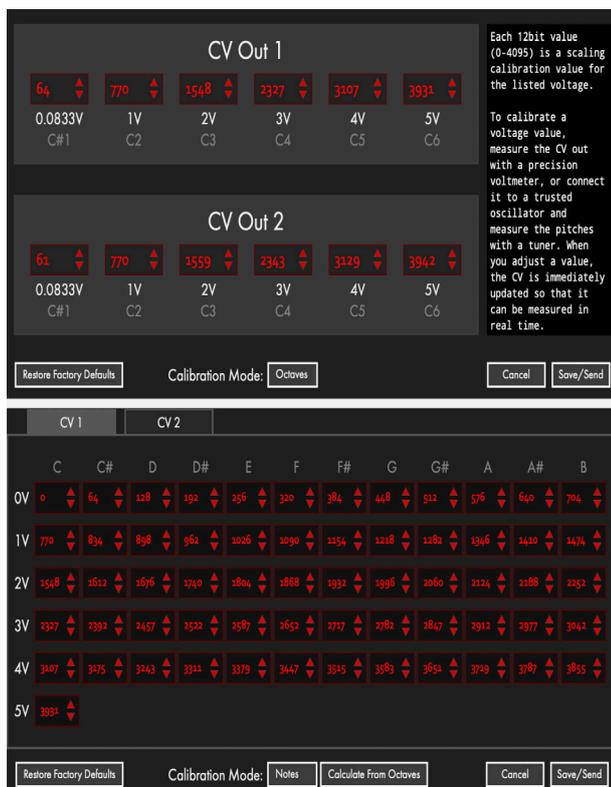
エクスプレッションペダルをキャリブレーションする手順

1. エクスプレッションペダルを接続します。※必ずエクスプレッションペダルを使用してください。ボリュームペダルは使用できません。
2. ペダルをかかと側 (ヒール) からつま先側 (トゥ) まで動かし、左側のスライダーに表示されるライブ値を確認します。中央のスライダーで最小 / 最大しきい値を調整し、右側のスライダーにはキャリブレーションされた出力値が表示されます。
3. ペダルをゼロ位置 (ヒール側) にして、中央スライダーの下側 (青いハンドル) を調整し、出力スライダーの値が 0 になるようにします。
4. ペダルを最大位置 (トゥ側) にして、中央スライダーの上側 (赤いハンドル) を調整し、出力スライダーの値が 127 になるようにします。
5. 調整が完了したら、[save] をクリックしてキャリブレーション値をデバイスに送信します。

CV 出力のキャリブレーション

CV 出力から送信される電圧は、発振器のピッチのズレや、西洋音階以外の音階・実験的な音律に対応するために微調整できます。

キャリブレーションは、「Calibrate CV Outs」ウィンドウを使用して、オクターブ単位またはノート単位で行います。



各 12 ビット値 (0 ~ 4095) は、指定された電圧に対するスケーリング・キャリブレーション値です。

■ 電圧値のキャリブレーション方法

CV 出力を精密な電圧計で測定するか、信頼できるオシレーターに接続してチューナーでピッチを測定します。値を調整すると、CV 出力はリアルタイムで更新され、すぐに測定可能な状態になります。

■ 12 ビット値による直接制御

CV1 は NRPN 1、CV2 は NRPN 2 を使用して、12 ビット値で直接制御できます。

2 12 Step Editor

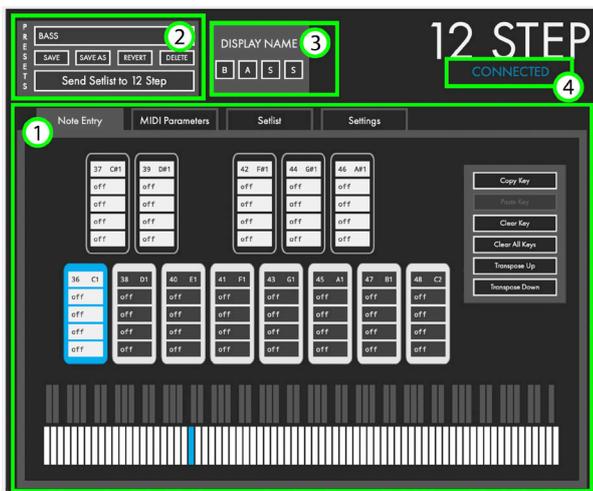
2-1. エディターソフトウェア概要

12 Step Editor ソフトウェアを使用すると、最大 64 個の完全にカスタマイズ可能なプリセットを編集し、接続された 12 Step に読み込みます。

MIDI ノート、CC メッセージ、プログラムチェンジ、プリセットの順序や管理など、さまざまな要素をエディター上で自由にカスタマイズできます。

※ Editor 上で行った変更はリアルタイムでは反映されません。変更を確認するには、プリセットを保存し、セットリストを 12 Step に送信する必要があります。

12 Step Editor を初めて起動すると、メインウィンドウが表示されます。ここから、各キーのノート設定、MIDI CC の割り当て、各種設定の調整、プリセットの管理など、すべての操作が行えます。



① エディタータブ :

12 Step Editor では、画面を整理するためにメインウィンドウにタブ構成を採用しています。

「ノート入力」「MIDI パラメーター」「プリセットセットリスト」「設定」などの画面には、対応するタブをクリックしてアクセスできます。

② プリセットセクション :

プリセットの選択、保存、元に戻す、削除を行えます。また、LED ディスプレイの表示内容もカスタマイズ可能です。

③ 表示名 :

現在のプリセットに対して、LED スクリーンに表示する文字を設定します。

④ 接続インジケーター :

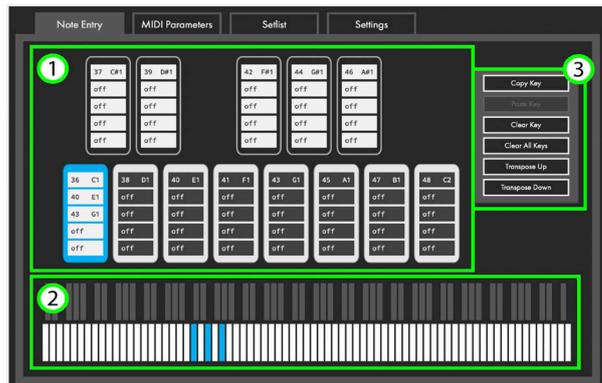
Editor が接続された 12 Step コントローラーと通信しているかどうかを表示します。

ファームウェアの更新、プリセットの送信、設定の変更には接続が必要です。

ただし、プリセットの編集や管理だけでは接続は不要です。

2-2. ノート入カタブ

ノート入カタブでは、各キーで演奏されるノートを設定します。各キーには最大 5 つまでのノートを割り当てられます。



① キー

各キーには 5 つのスロットがあります。各スロットには、MIDI ノート番号 0 (C-2) ~ 127 (G8) の中から 1 つのノートを設定できます。キーを編集する手順は以下の通りです :

- 1) 編集したいキーをクリックします。
- 2) 5 つのスロットの中から 1 つを選択します。
- 3) 希望する MIDI ノート番号を直接入力するか、パソコンのキーボードの上下矢印キーで値を増減させて調整します。

また、ノート入カタブ下部のキーボードグラフィックを使ってキーを編集できます。

② ノート入力キーボード

ノート入力キーボードは、MIDI ノート範囲全体 (ノート番号 0 = C-2 ~ 127 = G8) をカバーするグラフィック表示のキーボードです。

現在選択されているキーに割り当てられているすべてのノートが青く表示されます。クリックしてノートのオン/オフを切り替えられます。

③ 編集ボタン

ノート入カタブには、編集作業を効率化するための便利なボタンがいくつか用意されています。

■ コピー&ペースト

「Copy Key」をクリックすると、選択中のキーに設定された MIDI ノートをクリップボードにコピーします。

「Paste Key」をクリックすると、クリップボードに保存された MIDI ノートを選択中のキーに貼り付けます。

■ Clear Key / Clear All Keys

「Clear Key」は、現在選択されているキーからすべての MIDI ノートを削除します。

「Clear All Keys」は、すべてのキーから MIDI ノートを一括で削除します。

■ トランスポーズアップ/ダウン

「Transpose Up」または「Transpose Down」をクリックすると、選択中のキーに割り当てられた MIDI ノートを半音単位で上下にトランスポーズできます。

※ 0 ~ 127 の範囲外に出たノートは自動的に制限されます。

2-3. MIDI パラメータータブ

MIDI パラメータータブでは、より高度で詳細な MIDI 設定を行えます。

MIDI チャンネルの指定、プログラムチェンジやバンクチェンジの設定、CC（コントロールチェンジ）の設定変更などが可能です。



■ Voice A と Voice B

12 Step は、2つの独立した「ボイス」で同時に MIDI ノートを出力できます。それぞれのボイスには専用の「グローバルパラメーター」があり、個別に設定可能です。

この機能により、1つのコントローラーで2つのシンセを重ねて演奏などが可能になります。

MIDI に関連する各オプションには、Voice A 用と Voice B 用の 2つの列があります。それぞれのボイスで別々の MIDI チャンネルを使用し、異なるトランスポーズ、バンドレンジ、プログラムチェンジ、バンクセレクト、モッドラインなどを設定できます。

2-3-1. グローバルパラメーター

MIDI パラメータータブの上部には、12 Step の動作や各プリセットで固定される基本的な MIDI 設定（プログラムチェンジ、MIDI チャンネルなど）に関するオプションが表示されます。

■ MIDI チャンネル

MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。

■ プログラムチェンジ

プリセットを読み込んだ際に送信されるプログラムチェンジの値を設定します。

特定の 12 Step プリセットを選んだときに、対応する外部機器のプリセットや設定を自動で呼び出すのに便利です。

・ 範囲：0 ~ 127

■ バンク MSB / LSB

プリセットを読み込んだ際に送信されるバンクセレクトメッセージ（MSB / LSB）を設定します。

・ 範囲：0 ~ 127

■ トランスポーズ

プリセット全体の MIDI ノート出力に対して半音単位でトランスポーズ量を設定します。

例：トランスポーズ値「3」を設定すると、すべてのノート出力が短三度（+3半音）上がります。

・ 範囲：± 12

2-3-2. モッドライン (Modlines)

MIDI パラメータータブの下部には「モッドライン」が表示されます。モッドラインとは、12 Step がどのような MIDI メッセージを出力するか、そしてその出力方法を定義するための設定項目です。



各プリセットには、最大 6 つまでのモッドラインを設定できます。

これにより、MIDI CC の送信やアフタータッチ、ピッチベンド、LFO 的な制御など、細かな MIDI コントロールを柔軟に構築が可能です。

モッドラインセクションには、以下の設定項目が含まれます：

■ MIDI メッセージタイプ

出力する MIDI メッセージの種類を設定します。

※ 各メッセージタイプは、1つのプリセット内で1つのモッドラインにしか使用できません（例外：CCメッセージタイプは2つのモッドラインで使用可能）。

12 Step Editor で使用できるメッセージタイプは以下の通りです：

-Note：MIDI ノートを出力します。

-CC：指定したコントロールチェンジ（CC）番号に対して値を出力します。

■ Bend

MIDI ピッチベンドメッセージとして値を出力します。

■ チャンネルプレッシャー (Channel Pressure)

MIDI チャンネルプレッシャーメッセージとして値を出力します。

■ ポリ・アフタータッチ (Poly Aftertouch)

MIDI ノートアフタータッチメッセージとして値を出力します。

■ センサーソース (Sensor Sources)

使用するセンサー入力の種類を選択します（例：プレッシャー、ペロシティ、チルト、キー番号など）。

-Velocity

キーを押したときの力の強さを値として出力します。強く押すと高い値、弱く押すと低い値になります。

-Velocity (Inverted)

ペロシティの反転バージョン。強く押すと低い値、弱く押すと高い値になります。

-Pressure

キーを押している間の圧力を出力します。圧力が強いほど値は高くなり、圧力が弱いほど低くなります。キーを離すと値は 0 になります。

-Pressure (Inverted)

プレッシャーの反転バージョン。圧力が強いほど値は低くなり、弱いほど高くなります。キーを離すと値は 127 になります。

-Tilt

キーに対して上下方向 (Y 軸) の押し方を検出し、値として出力します。キーの上側に近い位置で押すと高い値、下側に近い位置で押すと低い値になります。キーを離すと値は中央 (63) に戻ります。

-Tilt (Inverted)

チルトの反転バージョン。キーの上側で押すと低い値、下側で押すと高い値になります。キーを離すと値は中央 (63) に戻ります。

-KeyNum

現在押されているキーの番号を出力します。番号は左から右へ順番に割り当てられており、12 Step 本体の表記とは一致しません。

- KeyNum (Inverted)

KeyNum ソースの反転バージョンです。通常は左から右に向かって 1 ~ 13 の値を出力しますが、反転版では 127 ~ 115 のように減少する値を出力します。

- ペダル (Pedal)

エクスペリションペダルが接続されている場合、このソースはペダルからの現在の値を出力します。

かかと側 (ヒールダウン) に倒すと低い値、つま先側 (トゥダウン) に倒すと高い値が出力されます。

- ペダル (Inverted)

ペダルソースの反転バージョンです。ヒールダウンで高い値、トゥダウンで低い値になります。

■ Gain (ゲイン)

入力値に対して指定された倍率を掛けます。負の値を使用して値の反転も可能です。デフォルト値は「1」。

■ Offset (オフセット)

入力値に指定した数値を加算します。負の数を入力すれば減算されます。デフォルト値は「0」。

■ Curve (カーブ)

入力値に対して適用されるカーブ (曲線特性) を設定します。使用可能なカーブには以下があります:

- Linear (直線)
- Sine (サイン)
- Cosine (コサイン)
- Exponential (指数)
- Logarithmic (対数)
- DeadZone (中央に反応しないゾーンがある Linear に似たカーブ)

■ Min / Max (最小/最大)

- 「Min」: 出力できる最小値を設定します。
 - 「Max」: 出力できる最大値を設定します。
- この範囲外の値はクリップされます (上限・下限に丸められる) が、無視されるわけではありません。
- 例: Min と Max を両方「60」に設定すると、キーを押すたびに常に「60」が出力されます。

■ モッドラインの追加/削除

- 「+」 ボタン: モッドラインを追加します (1 プリセットにつき最大 6 つまで)。新しいモッドラインはリストの一番下に追加されます。
- 「-」 ボタン: モッドラインを削除します (最低 2 つまで)。削除はリストの下から行われます。削除時、Message Type と Source は自動的に「Off」に設定されますが、その他の設定 (Gain、Offset、Curve、Min、Max) は保持されます。

図 -3-3. コントロール電圧 (Control Voltage)

12 Step2 には、プログラム可能な CV 出力が 2 系統搭載されています。各出力は、12 Step 本体のキーからローカル制御も、USB MIDI 経由で外部からの制御もできます。

ローカルと外部の両方から信号が届いた場合は、「最新の信号」が優先されます。

※ CV 機能は 12 Step2 専用です。旧型ハードウェアが接続されている場合は CV 出力は無効になります。

■ ローカル 12 Step2 CV 制御

12 Step2 本体のキーを使って CV 出力を制御できます。1 つのキーに複数のノートが割り当てられている場合、CV 制御に使われるのは最上段 (Editor 内) のノートのみです。

以下のソースを CV 出力に割り当て可能です：

- GATE：キーが押されている間 CV が 5V、離すと 0V になります。
- PITCH：最後に押されたキーに対応する音の高さを、1V/Oct の電圧で出力します。
- PRESSURE：現在押されているキーの圧力に応じて、0 ~ 5V の電圧を出力します。
- TILT：キーの上下方向の押し込みに応じて、0 ~ 5V の電圧を出力します。
- PEDAL：エクスプレッションペダルの入力に応じて、0 ~ 5V の電圧を出力します。
- DISABLED：12 Step のキーからのローカル制御を無効にします。

■ 外部 USB-MIDI による CV 制御

USB-MIDI 経由で MIDI メッセージを 12 Step2 の CV Out ポートに送信して、CV 出力を制御できます。

CV 出力は MIDI チャンネル 1 および 2 に対応しており、エディターで設定できます。

以下のソースを CV 出力に割り当て可能です：

- GATE：MIDI Note On を受信すると 5V、Note Off で 0V になります。複数のノートが有効な場合、すべての Note Off が送られるまでゲートは維持されます。
- PITCH：最後に受信した Note On に対応する音の高さを、1V/Oct の電圧で出力します。
- VELOCITY：最新の Note On メッセージのベロシティ値に応じて、0 ~ 5V の電圧を出力します。
- BEND / MOD：14 ビットのピッチベンドや 7 ビットのモジュレーションホイール (CC1) メッセージに応じて、0 ~ 5V の電圧を出力します。

図 -3-4. キーの挙動 (Key Behavior)

12 Step2 はデフォルトでモノフォニック (単音) モードに設定されています。つまり、一度に押せるキーは 1 つのみです。

キーには、ノートの演奏・保持方法を定義する「ノートモード」が 4 種類あります。

プリセットごとに「Key Mode」と「Note Mode」を設定・保存できます。

■ Key Mode (キーのモード) 旧称「Key Safety」

同時に押せるキーの数を設定します：

- Mono：一度に 1 つのキーしか押せません (モノフォニック)。
- Poly：複数のキーを同時に押せます (ポリフォニック)。

■ Note Mode (ノートモード)

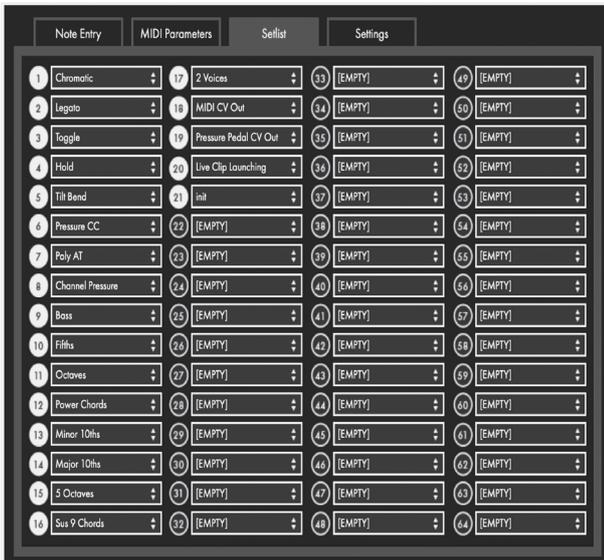
キーのオン/オフ (発音/停止) の挙動を設定します：

- Normal：キーを押すとノートがオンになり、離すとオフになります。
- Legato：キーを押すとノートがオンになり、次のキーを押すまでそのまま保持されます。
- Toggle：キーを押すとノートがオンになり、同じキーを再度押すまで保持され続けます。
- Hold：「セレクト」キーを使って「Normal」と「Legato」のモードを切り替えられます。

2-4. セットリストタブ

「セットリスト」とは、「Send Setlist to 12 Step」ボタンを押したときに 12 Step2 の内部メモリへ送信されるプリセットの一覧です。

セットリストには最大 64 個のプリセットを登録できます。



■ セットリストへのプリセット選択

ドロップダウンメニューを使用して、任意のプリセットをセットリストのスロットに割り当てます。

スロットの左側にある番号をクリックすると、そのスロットからプリセットを削除できます。

ヒント：「Edit」メニューから、セットリストにプリセットを自動で一括登録 (Auto-populate) したり、すべてのスロットを一括でクリア (Clear all) できます。

■ セットリストの送信

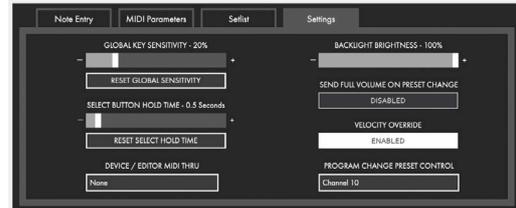
「Send Setlist to 12 Step」ボタンを押すと、セットリストが 12 Step 本体の内部メモリに送信されます。

セットリストを送信すると、接続されている 12 Step コントローラーの現在のメモリ内容は上書きされます。

2-5. 設定タブ (Settings Tab)

設定タブでは、感度の調整、ホールド時間の設定、MIDI Thru のオン/オフなど、12 Step の各種設定を行います。

このタブで変更された内容は、リアルタイムで 12 Step 本体に送信され、即座に反映されます。



■ グローバルキー感度 (Global Key Sensitivity)

キー全体の感度を調整します。スライダー下の「RESET GLOBAL SENSITIVITY」ボタンをクリックすると、感度がデフォルト値にリセットされます。

■ セレクトボタンホールド時間 (Select Button Hold Time)

セレクトボタンを反応させるまでのホールド時間を設定します。スライダー下の「RESET SELECT HOLD TIME」ボタンでデフォルト値に戻せます。

■ デバイス/エディター MIDI スルー (Device/Editor MIDI Thru)

12 Step2 に入力された MIDI データを選択したポートへスルー送信します。DAW を介さずに外部機器を直接制御したい場合に便利です。

※ Windows では、複数のアプリで同時に MIDI ドライバーを共有できないため、この MIDI スルー機能を使って設定を編集しながら音を確認できます。

■ バックライト輝度調整 (Backlight Brightness Control)

12 Step2 のキー LED バックライトの明るさを調整します。この機能は 12 Step2 専用で、旧型機では無効です。

■ プリセット変更時のボリューム出力設定 (Send Full Volume On Preset Change Switch)

プリセット変更時に CC7 (ボリューム) 127 を自動送信するかどうかを切り替えます。

■ ベロシティオーバーライド (Velocity Override)

有効にすると、すべての MIDI ノートがベロシティ 127 で送信され、モッドライン内のベロシティ関連設定は無視されます。

無効にすると、通常通りベロシティに応じた出力が行われます。

■ プログラムチェンジ・プリセット制御 (Program Change Preset Control)

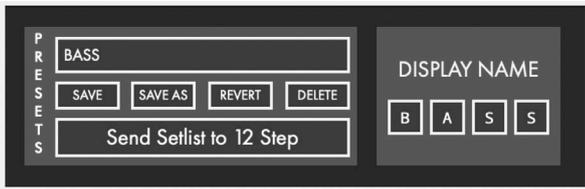
12 Step が受信するプログラムチェンジメッセージに対して応答する MIDI チャンネルを設定します。

このチャンネルでは、LED CC や CV NRPN メッセージにも対応します。

2-6. プリセットセクション

12 Step Editor のメインウィンドウ左上には「プリセットセクション」があります。

ここでは、プリセットの選択や保存、管理など、すべてのプリセット操作を行います。



■ プリセット選択ドロップダウンメニュー

クリックすると、すべてのプリセットの一覧が表示されます。選択したプリセットがエディター内でアクティブになります。

■ Save (保存)

現在のプリセットに加えた変更を保存します。未保存の変更がある場合、ボタンが赤く点灯します。

■ Save As (別名で保存)

現在のエディター設定を新しいプリセットとして保存します。保存時にプリセット名を入力するプロンプトが表示されます。

「Save As」を使用すると、編集集中だった元のプリセットは最後に保存された状態に戻ります。

■ Revert (元に戻す)

プリセットを最後に保存された状態に戻します。未保存の変更はすべて失われます。

■ Delete (削除)

現在選択されているプリセットを削除します。操作確認のダイアログが表示され、誤って削除されるのを防止します。

■ Send Setlist to 12 Step (セットリスト送信)

エディター上のセットリストに含まれるプリセットを、接続中の 12 Step に送信して更新します。

この操作により、12 Step に保存されているプリセットは上書きされます。

※ 現在選択中のプリセットがセットリスト内にあり、変更が未保存の場合、自動的に保存されます。

※ 空のスロットは自動で削除され、セットリスト内のプリセットは上に詰めて再配置されます。

■ Display Name (表示名)

現在のプリセットに 4 文字までの表示名を設定します。この名前は、12 Step の英数字ディスプレイに表示されます。

※ 7 セグメント LED で表示できない一部の文字は使用できません。

2-7. メニューバー

メニューバーには、さまざまな便利な機能や設定項目が用意されています。

■ 12 Step Editor

※ Windows ユーザーは、これらの項目は [Help] メニューにあります。

-About 12 Step Editor

12 Step Editor に関するバージョン情報を表示します。

-Editor Version : エディターのバージョン番号を表示します。

-Expected FW : このバージョンのエディターが対応するファームウェアバージョンを表示します。ファームウェアアップデート時に 12 Step に書き込まれるバージョンです。

-Found FW : 現在接続されている 12 Step に搭載されているファームウェアバージョンを表示します。

■ File (ファイル)

-Export Preset (プリセットの書き出し)

選択中のプリセットを外部ファイル (.twelvestepreset) として保存します。プリセットの共有や新しいコンピュータへの移行、バックアップに便利です。

-Import Preset (プリセットの読み込み)

保存された .twelvestepreset ファイルをエディターに読み込みます。バックアップからの復元や他人のプリセットの取り込み、旧 PC からの移行時に使用します。

-Open Editor Preset Directory (プリセットフォルダを開く)

プリセット、セットリスト、設定の .json ファイルが保存されているフォルダを開きます。

■ Edit (編集)

-Clear Preset (プリセットの初期化)

現在のプリセットをすべてクリアします。すべてのキーとモッドラインが [Off] に設定されます。

-Copy Preset (プリセットをコピー)

現在選択中のプリセットをコピーします。後で別のプリセットに上書きするか、新しいプリセットに貼り付けられます。

-Paste Preset (プリセットを貼り付け)

コピーされたプリセットを現在選択中のプリセットに貼り付けます。コピー済みのプリセットがある場合のみ使用可能です。

■ Paste Preset To New (新規プリセットへ貼り付け)

コピーされたプリセットを新しいプリセットとして貼り付けます。コピー済みのプリセットがある場合のみ使用可能です。

■ Clear Setlist (セットリストを全クリア)

セットリストを完全に初期化します。すべてのスロットが無効化され、\ [EMPTY] に設定されます。

■ Auto Populate Setlist (セットリスト自動入力)

セットリストにプリセットを自動的に入力します(最大 64 個まで)。プリセットドロップダウンメニューに表示される順番に従って登録されます。

■ Hardware (ハードウェア)

-Calibrate Expression Pedal(エクスプレッションペダルのキャリブレーション)

エクスプレッションペダルのキャリブレーションを実行します。設定内容は 12 Step 本体に保存されます。詳細はセクション 1.5 を参照してください。

-Calibrate CV Outs (CV 出力のキャリブレーション)

CV 出力の電圧をノート単位またはオクターブ単位で調整できます。詳細はセクション 1.5 を参照してください。

-Update/Reload Firmware (ファームウェアの更新/再インストール)

ファームウェアの手動アップデートまたは再インストールを開始します。

■ Help (ヘルプ)

-Documentation (マニュアル)

このマニュアルのダウンロードリンクを開きます。新しいブラウザウィンドウで表示されます。

-Hide/Show Tool Tips (ツールチップの表示/非表示)

マウスカーソルをオブジェクトに重ねたときに表示されるツールチップのオン/オフを切り替えます。